

各 位

会 社 名 株式会社テーオー小笠原
 代表者名 代表取締役社長 小笠原 康 正
 (JASDAQ・コード9812)
 問合せ先 専務取締役 今野 宮 夫
 (電話 0138-45-3911)

平成21年5月期第2四半期累計期間(連結・個別)及び
 通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成20年7月15日の決算短信にて発表しました平成21年5月期(平成20年6月1日～平成21年5月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成21年5月期第2四半期累計期間の業績予想数値の修正

(平成20年6月1日～平成20年11月30日)

(1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A)	20,000	400	350	200
今回修正予想(B)	20,636	379	282	38
増減額(B-A)	636	△21	△68	△162
増減率(%)	3.2	△5.2	△19.3	△80.5
前期(平成20年5月期中間)実績	19,685	422	280	97

(2) 個別業績予想の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A)	19,000	350	300	150
今回修正予想(B)	17,810	189	119	10
増減額(B-A)	△1,190	△161	△181	△140
増減率(%)	△6.3	△45.9	△60.0	△92.8
前期(平成20年5月期中間)実績	18,711	293	233	76

2. 平成21年5月期通期業績予想数値の修正(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	40,000	800	700	350
今回修正予想(B)	39,000	700	500	200
増減額(B-A)	△1,000	△100	△200	△150
増減率(%)	△2.5	△12.5	△28.6	△42.9
前期(平成20年5月期)実績	39,699	815	481	△521

(2) 個別業績予想の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	38,000	700	600	300
今回修正予想(B)	37,000	460	310	150
増減額(B-A)	△1,000	△240	△290	△150
増減率(%)	△2.6	△34.3	△48.3	△50.0
前期(平成20年5月期)実績	37,089	577	447	△331

3. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の業績予想の修正について

当第2四半期累計期間の連結売上高は、不動産市況の急激な悪化及び米国発のサブプライムローン問題に起因する景気後退の影響による個人消費の冷え込みに伴い、主に当社（個別）の住宅事業における戸建住宅及び木材事業における建築資材の売上高が当初予想を下回ることとなりましたが、建設事業において完成工事高が順調に推移したことにより、結果的にほぼ前回発表の予想どおりとなりました。

利益面につきましては、上記のとおり主に当社（個別）において売上高が減少したことに加え、当期より実施したたな卸資産の評価基準及び評価方法の変更に伴い前期までの評価方法と比べて当初の予想以上に売上総利益が減少したことにより、営業利益及び経常利益は前回発表の予想を下回ることとなりました。また、四半期純利益は、前述に加え、少数株主持分の当初予想以上の増加により前回発表の予想を下回ることとなりました。

(2) 通期の業績予想の修正について

主に、住宅事業において平成21年4月完成予定のマンションの契約状況は見込みどおり推移しており、当初予想した業績は見込めるものの、国内景気の後退による民間設備投資の抑制、不動産市況及び個人消費の低迷は今後しばらく続くと思われ、通期において、売上高及び営業利益ともに前述の第2四半期累計期間の修正した業績予想値の下振れを補うことは困難と判断し、上記のとおり修正いたします。また、経常利益及び当期純利益につきましては、前述に加え、為替相場における円高傾向が今後も継続すると思われ、営業外収益に計上しております通貨オプション評価益の減少を予想し、上記のとおり修正いたします。

※上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後起こりうる様々な要因によって実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以上